

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月11日

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所 東  
 コード番号 7748 URL http://www.holon-ltd.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 純  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 菅野 明郎 (TEL) 04-2945-2951  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	905	57.9	146	17.6	146	18.3	143	26.9
26年3月期第2四半期	573	71.4	124	—	124	—	113	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	43.01		—					
26年3月期第2四半期	33.89		—					

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,541	730	47.4
26年3月期	1,474	587	39.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 730百万円 26年3月期 587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00			
27年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	31.1	180	17.9	179	16.1	166	△5.5	49.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期2Q	3,340,500株	26年3月期	3,340,500株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	—株	26年3月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	3,340,500株	26年3月期2Q	3,340,500株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景として景気は緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら、新興国経済の成長鈍化や円安による原料・原油価格の高騰は依然として厳しい状況が続いており、夏場の天候不順による影響から個人消費も冷え込み、景気回復に足踏み感が漂っております。

半導体業界におきましては、スマートフォン(スマホ)やタブレット(多機能携帯端末)など携帯・通信分野で使用する半導体の需要は堅調に推移しており、半導体各社の設備投資拡大が期待される状況が続いております。

このような状況のもと、当社主力製品のマスクCD-SEM機「Z7」は顧客より高い評価をいただき、当第2四半期累計期間の売上はおおむね計画通りに推移いたしました。競合会社との価格面での競争も激しさを増しております。こうした現状を踏まえながら、当社の事業課題である『複数製品の販売による経営安定化』を実現するため、EDS分析機の「LEXa(レグザ)」等を積極的に市場投入してまいります。

また、NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の平成25年度イノベーション実用化ベンチャー支援事業に係る助成事業において採択された「NILナノパターンの観察計測ができる高分解能CD-SEMの開発」では10ナノメートルノード以下の次世代CD-SEM機の開発を進めるとともに、前年度に採択された「大気開放型SEMを組み込んだ大型ロール検査装置の開発」は早期の商品化を目指して開発を継続しております。

前期より期ずれしていた装置納入は完了し、当第2四半期累計期間におきまして売上計上しております。この結果、売上高は905百万円(前年同四半期比57.9%増)となりました。損益につきましては、営業利益146百万円(前年同四半期比17.6%増)、経常利益146百万円(前年同四半期比18.3%増)及び四半期純利益143百万円(前年同四半期比26.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて2.1%増加し、1,214百万円となりました。これは、仕掛品が244百万円減少した一方、現金及び預金が195百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて15.0%増加し、327百万円となりました。これは、無形固定資産が32百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて4.5%増加し、1,541百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて14.3%減少し、481百万円となりました。これは、電子記録債務が36百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が93百万円、短期借入金が65百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1.1%増加し、328百万円となりました。これは、退職給付引当金が7百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて8.6%減少し、810百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて24.5%増加し、730百万円となりました。これは、利益剰余金が143百万円増加したことによります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ、175百万円増加し(前第2四半期累計期間は212百万円の増加)、619百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は292百万円(前第2四半期累計期間に獲得した資金は179百万円)となりました。これは主に、仕入債務の減少が60百万円あった一方で、税引前四半期純利益が154百万円、たな卸資産の減少が233百万円あったことなどによります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は63百万円(前第2四半期累計期間に使用した資金は95百万円)となりました。これ

は、無形固定資産の取得による支出が31百万円あったことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は55百万円(前第2四半期累計期間に獲得した資金は127百万円)となりました。これは長期借入れによる収入が50百万円あった一方、短期借入金の減少が65百万円あったことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、年間目標をおおむね計画通りに推移しており、平成26年5月13日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	558,783	754,158
受取手形及び売掛金	310,552	358,665
仕掛品	301,487	56,900
原材料	16,493	28,071
その他	2,410	16,365
流動資産合計	1,189,727	1,214,161
固定資産		
有形固定資産	203,642	199,843
無形固定資産	45,204	77,475
投資その他の資産	35,799	49,927
固定資産合計	284,646	327,246
資産合計	1,474,373	1,541,407
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,891	68,426
電子記録債務	14,144	50,737
短期借入金	165,000	99,800
1年内返済予定の長期借入金	65,640	79,218
未払法人税等	12,784	14,762
賞与引当金	9,049	10,075
製品保証引当金	42,000	25,000
その他	91,540	133,669
流動負債合計	562,050	481,689
固定負債		
長期借入金	202,230	200,276
繰延税金負債	22,453	22,453
退職給付引当金	78,346	85,843
その他	22,219	20,401
固定負債合計	325,249	328,974
負債合計	887,299	810,664
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	692,361	692,361
資本剰余金	635,681	635,681
利益剰余金	△740,969	△597,300
株主資本合計	587,073	730,743
純資産合計	587,073	730,743
負債純資産合計	1,474,373	1,541,407

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	573,368	905,130
売上原価	251,444	512,335
売上総利益	321,924	392,794
販売費及び一般管理費		
役員報酬	17,091	18,900
給料及び手当	31,323	35,117
研究開発費	34,920	49,209
販売手数料	29,150	61,700
製品保証引当金繰入額	11,749	1,090
その他	73,342	80,554
販売費及び一般管理費合計	197,577	246,572
営業利益	124,346	146,222
営業外収益		
受取利息	22	64
為替差益	2,989	4,880
その他	27	21
営業外収益合計	3,039	4,966
営業外費用		
支払利息	3,090	2,829
手形売却損	76	1,077
その他	-	328
営業外費用合計	3,166	4,235
経常利益	124,219	146,953
特別利益		
保険金収入	-	7,523
特別利益合計	-	7,523
税引前四半期純利益	124,219	154,477
法人税、住民税及び事業税	11,005	10,808
四半期純利益	113,214	143,669

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	124,219	154,477
減価償却費	14,935	20,546
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,491	1,025
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,000	△17,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,754	7,497
受取利息及び受取配当金	△22	△64
支払利息	3,090	2,829
為替差損益(△は益)	△3,377	△5,090
保険金収入	—	△7,523
売上債権の増減額(△は増加)	148,708	△48,113
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43,748	233,009
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,116	△60,206
前受金の増減額(△は減少)	250	2,754
未収消費税等の増減額(△は増加)	3,559	△8,272
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,718	△12,424
預り金の増減額(△は減少)	△1,557	△255
その他	△52,370	33,054
小計	187,025	296,241
利息及び配当金の受取額	22	64
利息の支払額	△3,446	△2,678
災害による保険金の受取額	—	7,523
法人税等の支払額	△4,200	△8,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,401	292,243
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△80,000	△20,000
有形固定資産の取得による支出	△135	△533
無形固定資産の取得による支出	△15,495	△31,813
投資有価証券の取得による支出	—	△1,276
敷金及び保証金の差入による支出	—	△9,940
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,630	△63,563
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	144,000	△65,200
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△16,130	△38,376
リース債務の返済による支出	△312	△1,770
財務活動によるキャッシュ・フロー	127,557	△55,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,154	2,040
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	212,483	175,374
現金及び現金同等物の期首残高	244,519	443,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	457,002	619,149



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。